

TAKE FREE

# Anniversary 20th

たくさんの  
笑顔  
を  
あ  
り  
が  
と  
う。  
。



このアイコンにスマホをかざすと  
愉快的取材シーンを視聴できます。

動画でチェック!

あなたのスマートフォンに無料アプリ「COCOAR2」を  
ダウンロード、インストールしてください。



**KOMOTO**  
**STYLE Vol.20**  
2019 Autumn-Winter

# 家族のこだわりが詰まった 理想の住まい

青空の下、遠くからでもパッと目を引く、シャープでスタイリッシュな木村邸。夏も終わりに近づくこの日、弾けるような笑顔で迎えてくれたのは、木村さんご夫妻と、小学2年生の侑那(ゆな)ちゃん、4歳の采那(さな)ちゃん、2歳の会那(えな)ちゃんの仲良し3姉妹です。「家族みんな大満足!」というお家の住み心地を伺いました。



笑顔が素敵な  
仲良し3姉妹です

ご飯を食べたり勉強をしたり、ここが家族の団らんスポット



夜お子さんたちが眠ったあと、カウンターでゆっくり夫婦でお酒を飲むこともあるそう



天井を高くするためむき出しにした鉄骨が、かえってオシャレな雰囲気



長いカウンターを  
つくったかったんです

家族みんなが並んでも余裕のスペースです



## 信頼とコミュニケーションで叶えた こだわりの住まい

ご夫妻が家づくりを考えはじめたのは昨年とのこと。お子さんたちが成長するにつれ、これまで住んでいた家が手狭になってきたことがきっかけだったそうです。長女の侑那ちゃんが小学校を転校しなくても済むように、学区内で土地探しをスタート。そして、今年6月に新居が完成しました。実はご主人は、以前河本工業に勤めていた経験が、在籍していたのは住宅部門ではなかったものの、当時から、地域に根差した会社だと実感していたそう。ご自身の家づくりに際しても「信頼して任せられる」と考え、河本工業に依頼することにしたといいます。「いろいろな建築関係の雑誌などを見て、どんな家をつくりたいかを追求しました」というご主人に続き、「設計図からうまく実物が想像できないときは、主人がパース(建物の

外観や室内を立体的な絵にしたもの)を描いてくれて、夫婦でしっかりイメージを共有するようにしました」と奥様。理想の家づくりを実現するため、河本スタッフとは設計段階から何度も打ち合わせを重ねたのだとか。「いろいろと具体的なご要望を出していただけだったので、ご提案もしやすかったですね。木村さんは本当に研究熱心で、打ち合わせではこちらが勉強させていただくこともあったほどです」と話すのは、営業担当者の相川さんです。現場監督の小林さんも「工事中もこまめにやりとりをして、できるだけご要望に添えるように一緒に考えていきました」と語ります。河本スタッフとの綿密なコミュニケーションの結果、随所にこだわりの詰まった素敵な家が完成しました。

## 開放感いっぱいのリビングに、 使い心地抜群のキッチン

こだわりのポイントとして、まずご主人があげてくれたのが、リビングダイニングスペースです。玄関から入ってすぐのリビングは、思わず「広い!」と声をあげてしまうほどの開放感。白と木目を基調にしたインテリアと、大きな窓から降り注ぐ陽の光が、より明るい雰囲気を生み出しています。「リビングはできるだけ広い空間にしたかった」というご主人。天井を高くするため、鉄骨をあえてむき出しにしたスクルトン天井に。「見た目もキレイに見えるように構造を工夫しました」という相川さんに、ご主人も「天井に張ったシナ合板は、相川さんと小林さんのアイデア。希望を叶えてもらったうえに、すごくオシャレな仕上がりになりました」と満足そうな表情です。一方で、奥様のお気に入りにはキッチン。もと

もお料理好きということもあり、家の中でも長い時間を過ごすことになるキッチンの使い心地にはとことんこだわったのだそうです。スッキリ見せるために吊り戸棚はつくらず、それでいて収納スペースがたっぷりあるところもポイント。「ゴミ箱や炊飯器などは先に置く場所を決め、造り付けの収納をそのサイズに合わせました。キッチンの後ろの壁のタイルも、幅などをいろいろ考えながら気に入ったものを探したんです。リビングから玄関、2階に上がる階段まで、キッチンから家族の様子が見渡せるのもいいですよ」

キッチンの前に備えられた広いカウンターテーブルでは、家族で食事をしたり、お子さんたちが勉強やおしゃべりをしたり。明るい会話と笑顔があふれる、一家の団らんの場になっていました。

いちばんの  
お気に入りのキッチン  
とっても快適です

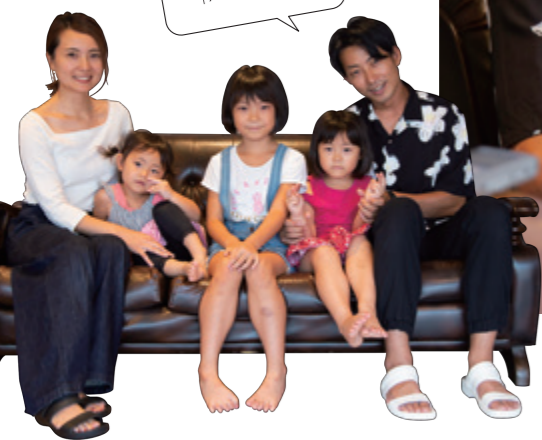


キッチンに立っていても  
家族とのコミュニケーションが  
取れるのが嬉しいです

料理もはかどりそうな  
広々キッチン

# New House User Report

新築ユーザーレポート  
佐野市/木村邸



素敵なお家で、家族の笑顔も増えそうです

## 子どもたちの成長を 優しく見守る家



インタビュー中、3人のお子さんたちも、次々と“うちの好きなところ”を教えてくださいました。一番は何といっても「自分のお部屋があること!」。以前の住まいでは3人一緒だった遊びスペースですが、2階に1人ずつの子ども部屋ができました。さらに、「いっぱい遊んで遊べるよ!」と嬉しそうに教えてくださいました。家の外に広がる大きな庭です。「子どもたちが思い切り遊べるように、広い庭がほしかったんです」というご主人に続き、「私も主人も家に人を呼ぶのが好きで、この夏も、お友達家族を招いて庭でバーベキューをしたり、子どもたちとプール遊びをしたりしました」と奥様。お子さんたちにも、楽しい思い出がたくさんできそうですね。

玄関を入ってすぐのところに  
ある手洗い器。  
外から帰ったらすぐに  
手洗いができます



家の中には子育て家庭ならではの工夫もたくさん。外から帰ってすぐ手が洗えるように、玄関の目の前に手洗い器が設置されています。これならお子さんたちも手洗いが習慣になりますし、お友達が遊びに来たときにも、家の奥の洗面所まで手を洗いに行く必要がありません。また、玄関には、DIYが得意なご主人お手製のシューズクローゼットが。家族全員の靴はもちろん、お子さんたちのレインコートなどもたっぷり収納できるスペースになっています。この棚のほかにも、庭の鉄棒や廃材を活用したインテリアグッズ、お子さんの机などもご主人が見つけたというから驚きです。



ウッディな温もりのある玄関ドアに飾られたリースがオシャレ

リビングから庭に続くウッドデッキ



2階ベランダのスチール製の手すりが、洗練された印象を引き立てます



## 外からも目を引く スタイリッシュモダンなデザイン

白を基調にした直線的で洗練された外観のデザインも、ご主人のこだわり。スクアのシルエットに加え、外からの見え方も計算しながら、窓の大きさや配置などを決めていったそうです。さらに、そのスタイリッシュな外観を引き立てているのが、2階のベランダに設けられたスチール製の手すりです。「窓が大きいので、家の外からも中からも視界のジャマにならないようなデザインを考えました」というご主人に、「できるだけ理想通りに仕上げられるよう、鋼材のピッチなども調整しながら取りつけました」と相川さん。2階のベランダは家の端から端までつながった造りになっているので、布団など大きなものを干すのもラクラクです。

外観、内観ともに  
デザインにこだわりました



## 理想の家づくりを叶えるポイントは?

建築本部 住宅事業部 工場長 小林浩之

実際に工事を進めていくと、設計図を見ただけでは思いつかなかった希望が出てくる場合があります。家づくりの際には、できれば工事中に何度か足を運び、要望があればどんどん現場スタッフにお伝えください。ご要望を叶えるために、きっとご提案できることがあると思います。また、家づくりを検討される際には、完成したモデルハウスだけでなく構造見学会にも参加してみると、いろいろなヒントが得られると思いますよ。





# Reform User Report

リフォームユーザーレポート  
邑楽郡/岡田邸

## 間取りの大胆チェンジで暮らしが快適に

お子さんたちも独立し、現在はご夫婦2人でお住まいという岡田さん。今回、住宅の1階部分すべてという大規模なリフォームを行ったそうです。リフォームによってご夫婦の暮らしはどのように変化したのでしょうか。3週間前に工事が完了したばかりというお宅にお邪魔してきました。



リビングから続くサンルームには、マットを敷き詰めて部屋の延長のように

ご主人の希望だったという広いウッドデッキ

### 河本スタッフからの提案に“一目ボレ”

築42年という岡田さんの住まい。これまで増築や床、壁紙の張り替えなどは行ったものの、「トイレが古くて狭い」「浴室が遠い」など、水回りの使い勝手の悪さを感じていたそうです。ちょうど1年前、奥様がケガのためにお仕事を休むことになり、普段忙しくて後回しにしていたリフォームのことを具体的に考えるようになりました。そして、まず相談したのが、リフォーム経験者であるお兄様。実は、そのお兄様宅のリフォームを担当したのが、当時は別の会社に勤めていた、施工担当者の青木さんでした。「兄から『青木さんはとってもいい人だから相談してみたら』と言われたんです。実際に話してみると、河本工業さんをお願いしよう決めました。」

とはいえ、岡田さんご夫妻が当初考えていたのは、トイレや浴室、キッチンなど水回りのリフォーム。それがどうして、1階部分すべてという大規模リフォームになったのでしょうか？ その理由について、ご夫妻は「青木さんのおかげです」と声を揃えます。「工事内容や予算について相談する中で、青木さんから『こんな案もありますよ』と間取りをご提案いただいて、『こんな夢みたいなのが実現できるんだ！』と一目で気に入りました」と奥様。ご主人も「せっかくリフォームをするなら一気にやった方がいいと思ったんです」と笑顔で話してくれました。実際に工事をスタートするのは半年後と決め、その間に庭をキレイにしたりとさまざまな下準備をしておいたそうです。



押し入れと床の間だったスペースは、使いやすいキッチンに



### 部屋の間取りが180度チェンジ

青木さんが、河本リフォームセンターの大塚所長とも相談しながら考えたという、そのリフォーム案は、キッチンの場所がそれまでと180度反対側になるというもの。もともとキッチンがあったスペースはスッキリとした洋室に。現在キッチンや洗面脱衣所がある場所は、以前はなんと押し入れだったそうです。また、ご夫妻は「この家に住んだまま工事ができるというのも決め手の一つでした」といいます。リフォームにあたって、1階部分は柱だけを残してすべて解体することに。それでも、ご夫婦は2階で普段通り生活できたそうです。「食事は以前子ども部屋として使っていた庭のプレハブで。お風呂だけ、近所の姉の家に借りに行っていました」と奥様。ご不便もあったのでは？ と尋ねてみると、「全然そんなことなかったです。工事中はブルーシートの下をくぐって2階に上がって。何だか秘密基地みたいで楽しかったですよ」と、笑顔で答えてくれました。

一方、予期せぬ問題も発生したようで…。「外からは分からなかったのですが、解体してみると、思った以上にシロアリに食われて柱がボロボロになっていました。痛んでいた柱は全部取り替えて、補強のための筋交い(柱の間にななめに交差させてとりつける部材)もかなり入れました」と青木さん。結果として、家全体の強度を上げることにつながりました。

悩みだった水回りもとても使いやすくなりましたとくにキッチンがお気に入り



### 生活動線の悩みも一気に解消

リフォームによって、もともと悩みの種だった水回りの不便さは一気に解決。とくに、奥様が「料理がしやすく掃除もラク」というキッチンは、以前に比べてコンパクトになったにも関わらず、使いやすさは格段に向上したといいます。リフォーム前は玄関を挟んで左右に別れていた居間とキッチンがつながり、生活動線もグッとスムーズに。「行くのが億劫だった洗面所や浴室もリビングから近くなりました。冬場は寒くてつらい思いをしていた脱衣所も、今はとても快適です」と、笑顔で語ってくれました。「夫婦2人の住まいなので、リビングも広す

ぎずちょうどいい」という岡田さんご夫妻ですが、実際のスペース以上に広々と感じるのは、リビングから続くサンルームのおかげかもしれません。陽の光もたっぷり入り、天気を気にせず洗濯物が干せるように。遊びに来たお孫さんもサンルームが気に入って、ひなたぼっこを楽しんでいるそうです。また、ご主人が「前からほしかったんです」というのが、庭の広いウッドデッキです。今後はデッキの周りに囲いをつくり、テーブルと椅子を置いて晩酌を楽しみたいのだから。家の中とは一味違う、素敵なリラックススペースになりそうですね。



庭に面した和室はダイニングスペースに便利なサンルームで開放感もプラス



ウッドデッキで陽動をしたりバーベキューをしたいですね楽しみます

# Reform User Report

リフォームユーザーレポート  
邑楽郡／岡田邸

## リフォームで「帰るのが楽しみな家」に

インタビュー中、何度も「青木さんをお願いしてよかった」と繰り返し話してくれた岡田さんご夫妻。ご主人の「青木さんがいなかったら、こんなにいい家はできませんでしたよ」という言葉に続き、奥様も「何でも気軽に話せました。細かい希望にもしっかり対応してもらって感謝です」と大満足の表情。ご夫妻のお仕事の都合に合わせて打ち合わせの曜日を決め、こまめにコミュニケーションを取っていったそうです。おかげで、内装の色やデザインもイメージ通りに仕上がったのだとか。

リフォーム完成後、早速泊りに来たお子さんやお孫さんからも、「過ごしやすくて落ち着く」と大好評だったそう。「今後は庭を整備して、門もキレイに直す予定です。しばらく経って落ち着いたら、2階の部屋も壁紙を張り替えたいですね」と、これからの暮らしに向けて希望も広がります。「仕事から家に帰ってくるとホッとしますね」というご主人の隣で、奥様も「快適な住まいで、毎日帰るのが楽しみになりました」とニコリ。毎日の生活に笑顔があふれる、大満足のリフォームとなったようです。



ご夫婦が「何でも話やすかったです」という施工担当の青木さんと



Before



After

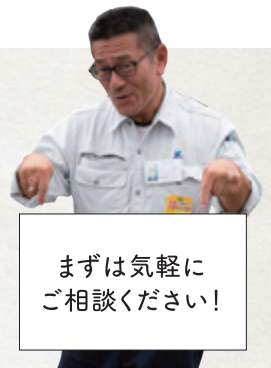
以前キッチンだった場所は、お子さんやお孫さんが遊びに来たときに集まれる洋室に



## リフォームで多いニーズは？

河本リフォームセンター 青木正知

多いのは、トイレや洗面所、キッチン、浴室など、水回りのリフォームです。世代的には、お子さんが独立されてご夫婦2人暮らしという方からのお問合せが多いですね。水回りをリフォームすると、暮らしやすさはグッと変わります。また、水道光熱費が抑えられたり、冬場の脱衣所の寒さが解消されたりするメリットも。希望や予算によってさまざまな提案が可能なので、「快適な住まいにしたい」と思ったら、まずは気軽にご相談いただければ嬉しいです。



まずは気軽に  
ご相談ください!



超断熱 体験型モデルハウス  
『komachi』  
和と親しむ。最高水準の快適性。



見学をご希望の方はこちらからご予約ください。※予約制

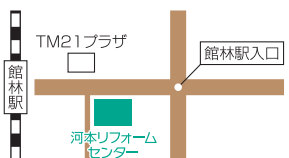
電話予約受付時間  
[平日9:00~17:00]

TEL.0276-72-3325

## 河本リフォームセンター

お気軽にお立ち寄り  
くださいませ。

受付時間  
9:00~17:00



## 河本工業株式会社

〒374-0057 館林市北成島町2544

新築のご用命はこちら

TEL.0276-72-3325

FAX.0276-72-3327

www.komoto-style.jp

河本工業 住宅

検索

リフォームのご用命はこちら

TEL.0120-75-9188

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは [info@coiki.net](mailto:info@coiki.net) まで

### POSTSCRIPT

お陰様で、2011年に第1号を発行しました『KOMOTO-STYLE』が第20号の発行を迎えることができました。それも一重に当社の住宅に深いご理解とご愛顧をいただいた賜物と存じます。その間、新築・リフォーム総勢31のご家族の方々にご出演いただき、たくさんのお顔を頂戴して誠に有難うございました。この場をかりて感謝申し上げます。今後も、地域密着型の住宅会社として皆様に愛される『住まいづくり』の発信基地として頑張っていく所存でございますので、より一層のご愛顧をいただけますように、どうぞ宜しくお願いいたします。

KOMOTO STYLE 編集委員会